



大いちょう

平成28年 11月 1日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No.7

048 (829) 2737

Oh! Happy Day

校長 石山 大介

顔全体、からだ全部を使って、声の出る限り、力を振り絞って、自分の思いを、自分たちの思いを伝える。音になったその思いは、聞く人の心を温かく包み、時として胸に迫る。そのメッセージは、感動としていつまでも心に刻まれるのです。

それが音楽。

秋も深まり、校庭のおおいちょうを始め、木々はこの季節ならではの装いを競うように変化させながら、黄色や赤、緑など、色のハーモニーを表現しています。先週、10月28日(金)、29日(土)は、本校の体育館に、高砂小の皆さんの美しい心のハーモニーが響いていました。今年の音楽会で各学年に共通するテーマは、太陽や地球、自然。海、森、川、花や動物でした。

1年生の「お陽さまになって」は透き通るようなとてもきれいな声で、お陽さまの温かさが伝わってきました。2年生の「子犬のマーチ」は、かわいい子犬の様子が楽しく表現できました。3年生の「エーデルワイス」。美しいエーデルワイスの花が目に見え始めるようでした。

特に4、5年生が取り組んだ音楽劇や6年生の合唱には、自然の一部であることを忘れてしまったような私たち人間に、警鐘を鳴らすメッセージが込められていたと思います。

♪ 海が揺らすよ ゆりかご 心の海に溢れる愛

この限りある命の不思議 (4年生「命の不思議」より)

♪ この森は地球の母なる大地の心

ああ僕たちは こんなに優しい地球を傷つけずにはられない

(5年生「Mother's Forest」より)

♪ 愛し児よ 私達は自然とともに生きている

自然の声を聞きとるのは 愛し児よ お前の心

(6年生「満月の不思議ポロロッカ」より)

開かれた心で、恐れずに、後ろにいる隣にいる仲間を信じて歌う。それを支える仲間同士の信頼関係。仲間の声の動きや高さに自分の声を瞬間的に合わせていくという積極的な行為が、百数十人分集まって、伝えたいメッセージをより強いものにして、聴く者に感動を与えてくれました。高砂の子どもたちがもっている“力”を感じた素晴らしい音楽会でした。

子どもたちは、校内音楽会の取組みをとおして、教科書には表されていない大切なものを学びました。そんな高砂小の子どもたちの様子を見、幸せを感じた一日でした。

Oh! Happy Day

音楽会には、大勢の保護者の皆様、地域の皆様に参観していただき、大変ありがとうございました。子どもたちも、それを意気に感じ、児童同士の発表とはまた違う気持ちでの発表ができました。また、写真撮影や動画撮影につきましても、ご理解・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

高砂小の音楽会の伝統として、受け継いでいただければと願っております。